

陽村集

目次 解説

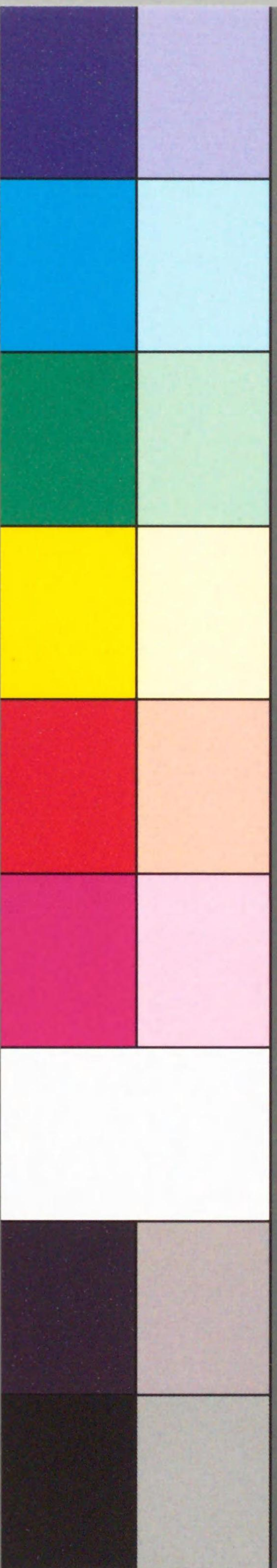
W142

H3

帙あり

Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

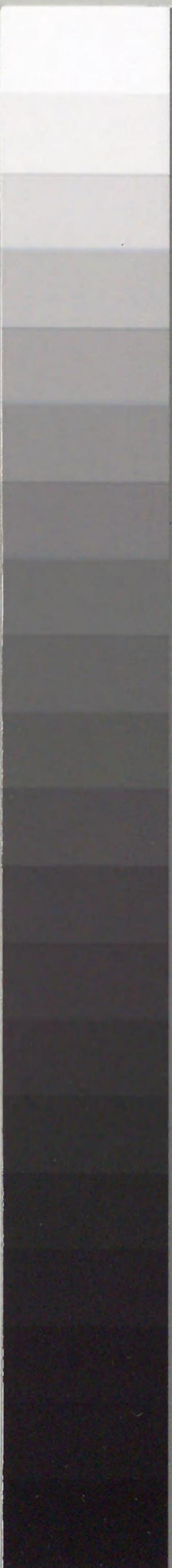


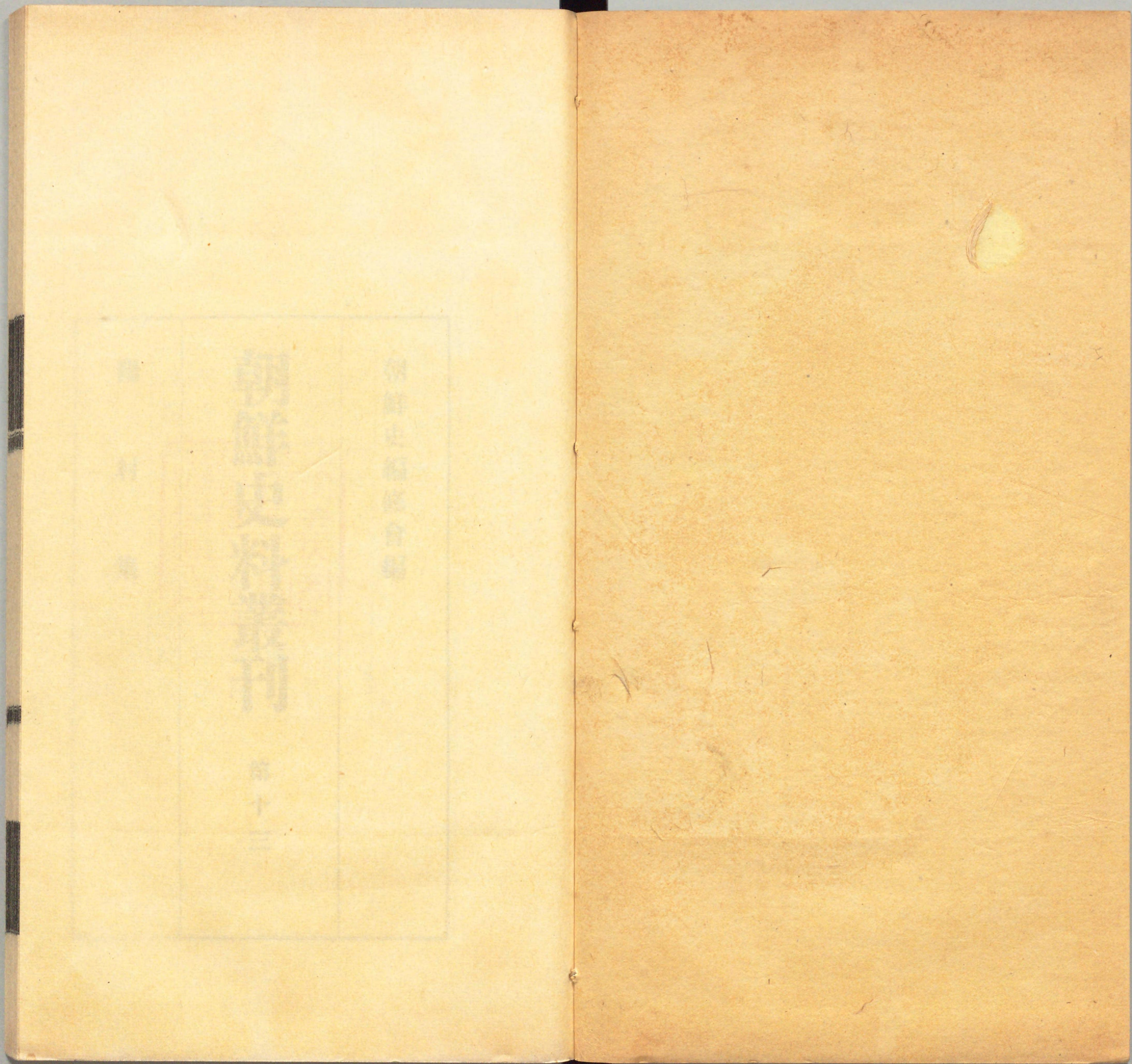
Kodak Gray Scale

C Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



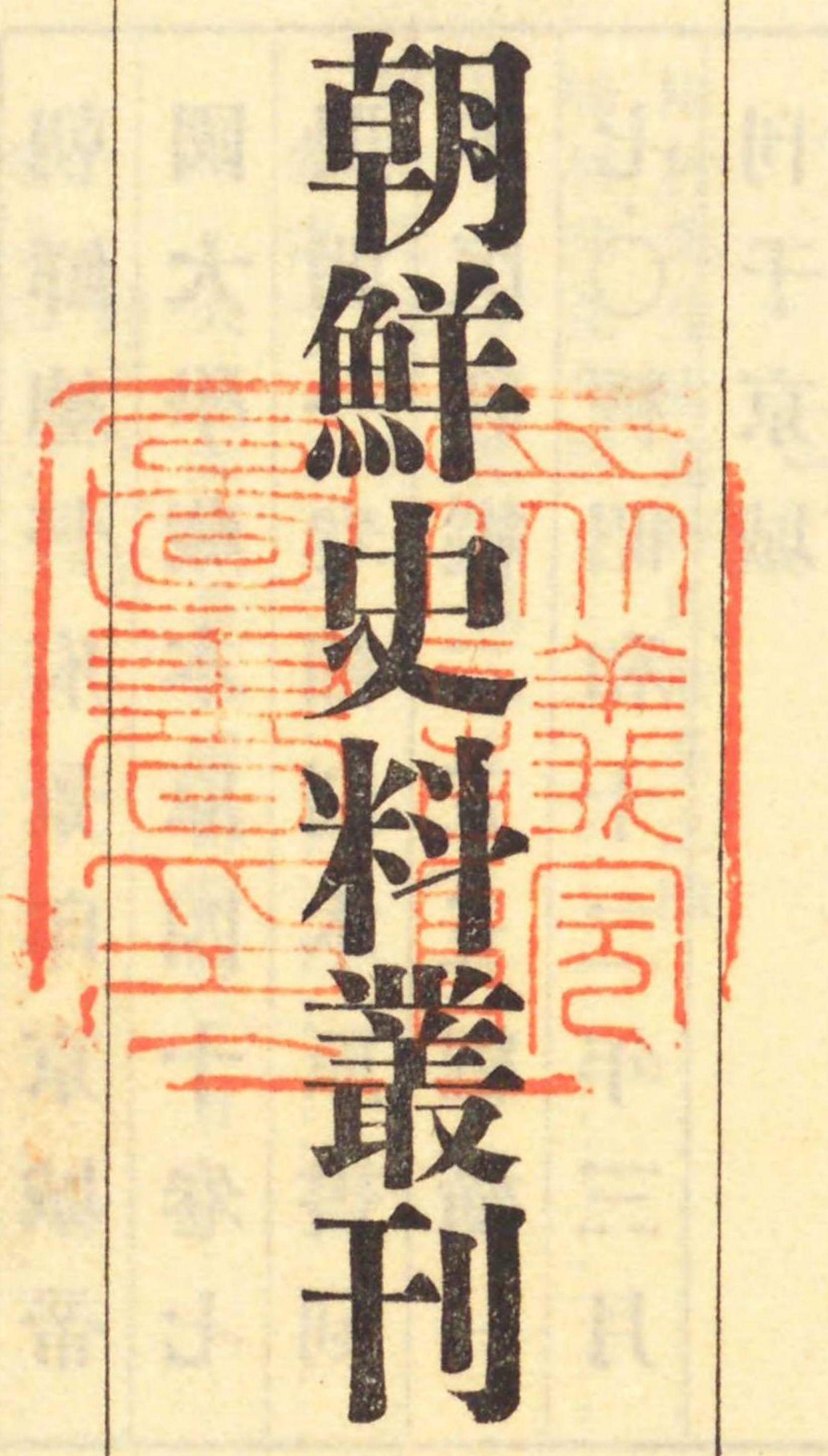


朝鮮史編修會編

朝鮮史料叢刊

第十三

陽
村
集



W142

H3

朝鮮總督府景印京城帝國大學藏本原四十卷七冊闕一卷補別本原書刻本匡郭縱二五五糹橫一七〇糹昭和十二年三月刊于京城



I 種
W



1200501867380

陽村集總目次

[1]

陽村先生永嘉權氏世系之圖	(一一一)
陽村先生年譜	(一一七)
陽村先生文集目錄	(一二五)
陽村先生文集	(一三六)
卷之一	(一三六)
大明太祖高皇帝御製詩(三首)	
詩(三十一首)	
卷之二	(一三八)
詩(一百二首)	
附陶隱先生(李崇仁)詩(二首)	
卷之三	(一一八)
詩(九十九首)	

卷之四	(一一九)
詩七十首		
卷之五	(一二八)
詩九十二首		
[二]		
卷之六	(一三三)
詩一百三十五首		
卷之七	(一三五)
詩一百二十五首		
附子堃先生詩(三首)		
卷之八	(一三三)
詩一百七首		
卷之九	(一三三)
詩九十八首		
卷之十	(一三四)

詩一百十七首
附浩亭先生(河崙)詩(六首)

[三]

卷之十一	(一三九)
記(十二)		
卷之十二	(一三九)
記(十二)		
卷之十三	(一三七)
記(十二)		
卷之十四	(一三七)
記(十二)		
卷之十五	(一三六)
序(十二)		
卷之十六	(一三六)
序(十二)		

〔四〕

卷之十七……………(一一六)
 序(十)
 卷之十八……………(一一五)
 序(十二)
 卷之十九……………(一一五)
 序(十二)
 卷之二十……………(一一六)
 序(十二)
 卷之二十一……………(一一三)
 說(十三)
 傳(三)
 卷之二十二……………(一一七)
 跋語(二十二)
 卷之二十三……………(一一五)

銘(七)
 讚(八)
 祭文(十三)
 〔五〕

卷之二十四……………(一一四)
 事大表箋(二十二)
 本朝箋文(十六)
 卷之二十五……………(一一二)
 本朝箋文(十二)
 附不允批答(二)
 卷之二十六……………(一一八)
 本朝箋文(二)
 附不允批答(二)
 筭字(三)
 啓本(二)

卷之二十七……………(一一九)

疏語(十二)

卷之二十八……………(一一六)

疏語(十二)

〔六〕

卷之二十九……………(一一九)

青詞(十四)

卷之三十……………(一一二)

教書(九)

卷之三十一……………(一一六)

上書(四)

卷之三十二……………(一一四)

上書(八)

卷之三十三……………(一一五)

雜著

玉册(二)
哀册(二)
謝書(二)
願文(二)
田父唁(二)
策題(六)

〔七〕

卷之三十四……………(一一七)

東國史略傳

卷之三十五……………(一一〇)

東賢事略

卷之三十六……………(一一八)

碑銘(三)

卷之三十七……………(一一三)

碑銘(三)

卷之三十八……………(一一三)

碑銘(三)

卷之三十九……………(一一三)

碑銘(二)

墓誌(四)

卷之四十……………(一一二)

墓誌(二)

行狀(二)

陽村集總目次 終

陽村集目次

大明太祖高皇帝御製詩(三首,賜朝鮮國秀才權近)

題鴨綠江

高麗古京

使經遼左

陽村先生文集卷之一

[第一册]

詩

應制詩(朝鮮國陪臣權近製進)……………(二)

命題八首(洪武二十九年九月十五日)……………(二)

王京作古……………(二)

李氏異居……………(二)

出使……………(二)

奉朝鮮命至京	(二)
道經西京	(三)
渡鴨綠	(三)
由遼左	(三)
航萊州海	(四)
命題十首(洪武二十年九月二十二日)	(四)
始古開闢東夷主	(四)
相望日本	(四)
金剛山	(四)
新京地理	(五)
辰韓	(五)
馬韓	(五)
弁韓	(五)
新羅	(六)
耽羅	(六)
大同江	(六)

命題六首(洪武二十九年十月二十七日)	(六)
聽高歌於來賓	(六)
閱伶人於重譯	(七)
引觴南市酩酊而歸	(七)
開懷北市落魄而還	(七)
醉仙暢飲遊日於江皋	(七)
鶴鳴再坐聞環佩而珊瑚	(八)
天監華山新廟詩并序	(九)
天監六章八句	(二)
華山四章八句	(二)
新廟四章八句	(二)
進風謠并序	(三)
進嵩華詩并序	(四)
嵩華四章十二句	(五)
蘭竹章并序	(五)
蘭竹四章十二句	(六)

陽村先生文集卷之二

〔第一冊〕

詩

和三峯先生鶴歌	(一)
擬古和陶	(一)
春夜與金翼之觀李周道行關東紀行	(一)
次韻曹仲實修撰信	(二)
送同年李益信佐幕全羅觀省	(二)
同劉博士敬宿	(二)
贈吳部令偃機	(二)
有感	(二)
扈從城南	(二)
次韻全齋李先生賀樞齋李正尹蒙受賜米	(三)
送李周道修撰觀省行	(三)
送李養實	(三)

春晚卽事	(三)
安校勘垂宅醉歸	(四)
政房書懷	(四)
安史官宅飲贈歌	(四)
睡起	(四)
四皓用裴同年韻仲倫	(五)
登止觀寺西峯	(五)
定慧寺	(五)
宿禪月寺	(五)
次李通州寄詩韻詹	(五)
次韻送騎牛道人	(五)
<small>自註李周道嘗遊關東每 月夜騎牛自號一可道人</small>		
村中阻雨	(六)
送金直長彌兼寄鄭三峯	(六)
次李知印韻	(六)
題杏村小樓	(六)
憶三峯陶隱諸公	(六)

夜吟	(六)
送朴校勘退歸觀	(七)
戲贈裴同年仲倫	(七)
元日帖字	(七)
元日退朝贈金同年攀	(七)
金同年次韻又作一首	(七)
晨興	(七)
同宋寺承文中訪蔡糾正克敬次朴免詩韻二首	(七)
入直咏榴花	(八)
急雨李副令元紱呼韻	(八)
送李使君集赴合浦幕	(八)
送李史官伯由晒史海印寺	(八)
宮梅二首	(八)
次藝文諸公館中庭松詩韻	(九)
得陶隱書	(九)
寄廉民望待制	(九)

到陽村	(九)
次韻藝文諸子賦梅	(九)
次韻陶隱諸公神孝寺蒲桃架	(一〇)
直廬書懷	(一〇)
雨中用簡齋韻招金翼之	(一〇)
次韻寄陶隱	(一〇)
陶隱詩附	(一〇)
次韻金中郎若采春雨	(一〇)
次藝文諸公采	(一〇)
丁巳立春	(一一)
送金堂後因寄金正言去礦	(一一)
<small>自註堂後爾音 正言子粹也</small>	(一一)
中秋寄李正郎種學二首	(一一)
病中答廉庫使廷秀	(一一)
登牛帖	(一一)
李海進士歸寧	(一一)
敬孝大王挽章	(一一)
<small>恭愍王</small>	(一一)

柳貞慎公潤挽辭	(二)
李忠靖公希泌挽辭	(三)
成判書唯德挽辭	(三)
全判書挽辭三首 敬先	(三)
閱判書挽辭 <small>自註元朝國學生員諱瑄</small>	(三)
楔監丞夫人挽辭	(三)
次楔送金遂良歸川寧二首	(三)
醉歌行贈金寺丞 <small>擊</small>	(三)
苦熱行贈金翼之	(四)
送日本釋大有還國	(四)
次韻堊堂許摠郎 <small>錦</small> 二首	(四)
送鄭大司成奉使日本	(五)
座主牧隱相國寄詩于我大父誠齋相國次韻三首	(五)
次韻李祇候 <small>結</small> 二首	(六)
中庵所畫李周道騎牛圖 <small>自註中庵日本釋守允</small>	(六)
次韻李周道行四首	(六)

送金大素判官肇赴忠州	(六)
送曹溪芬禪師	(七)
公主挽辭	(七)
趙密直挽辭 <small>諱思敏</small>	(七)
朴簽書形宅收丹	(七)
賀姜代言 <small>隱</small>	(七)
奉寄西隣李舍人 <small>結李糾正稷安注書魯生</small>	(八)
奉送全羅道按廉鄭摠郎 <small>釐</small> 二首	(八)
六月十六日夜李舍人 <small>結與安注書魯生</small> 携酒見訪詩以爲謝	(八)

陽村先生文集卷之三

〔第一冊〕

詩

愛葵吟	(一)
傷葵吟	(一)
中秋法王寺翫月二首	(一)

十六日到家得前夜李舍人諸公欲來小樓翫月之書又用前韻……………(一)

其夜陪姜代言之顯李舍人諸公登三峴北峯又用前韻……………(二)

次韻答安注書六首……………(二)

寄題龍山秋興亭……………(三)

謁玄陵……………(三)

重過玄陵……………(三)

送朴全古自註亡宰公
普老之子……………(三)

朴評理普老挽辭諡敬烈公……………(三)

次韻答張判官躋……………(三)

成密直士達挽辭……………(四)

永慕亭詩自註郭壯元麟使日本不反
其孫大司成忠守作此亭……………(四)

李氏壽父園中四詠……………(四)

松……………(四)

竹……………(四)

梅……………(五)

蘭……………(五)

次韻民望見寄……………(五)

李斗帖畫達摩請讚戲贈二絕……………(五)

慶貞烈公挽辭二首慶侍中復興……………(五)

題菊澗……………(六)

城東迎駕次尹紹宗待制詔……………(六)

南氏宅梅花三絕在……………(六)

南氏宅賦梅三絕因兩家皆無紙故未書已有日矣南公得紙分惠仍
求梅詩又作此爲謝……………(六)

擊瓮圖……………(七)

王明妃……………(七)

次韻奉獻崔侍中瑩……………(七)

次韻李相國我太祖引月凱還駕詩二首……………(七)

姜文敬公挽辭二首……………(八)

次甘露寺壁上詩韻……………(八)

次碧瀾渡板上韻……………(八)

送楊廣道按廉安諫議十八韻……………(九)

贈西峯禪者	(九)
與裴同年遊朴淵次其韻	(九)
朴淵	(一〇)
次李斗帖韻送韓舍人赴咸安	(一〇)
<small>自註時固城妖人稱彌勒變性甚多</small>	(一〇)
贈栢庭禪師	(一〇)
三韓國大夫人權氏挽辭廉侍中悌臣夫人	(一一)
送進士韓有文歸觀西原三首	(一一)
送生員金漢寶歸關東	(一一)
入直次金大諫韻	(一二)
送楊廣薛按廉 <small>稱</small>	(一二)
題省中壁	(一二)
夜直書懷	(一二)
送江陵道按廉徐佐郎	(一二)
入史直奉次座主牧隱相國詩韻	(一二)
聞公州判官宋子浩陷倭	(一二)
題目菴卷子	(一二)

送裴修撰晒史七長寺次韻	(一三)
長湍路上斗帖	(一三)
斗帖次韻見寄又用其韻	(一三)
在長湍作	(一四)
奴好珍射雉爲具以詩誌之	(一四)
聞提壺有感	(一四)
龍野路上	(一四)
次神勒寺板上韻	(一五)
題玄峯妙上人卷子	(一五)
送海禪者	(一五)
四月初八日在長湍作	(一五)
送金副令方礪歸金海	(一五)
送絕傳上人	(一六)
送明大選	(一六)
入直次同舍韻	(一六)
致堂詩 <small>自註金判書依祖自號</small>	(一六)

入直聞兩府耆老會議之事感歎而作……………(一七)
眼疾二篇寄李斗帖辛酉冬作……………(一七)
入史直又次牧隱詩韻……………(一八)

陽村先生文集卷之四

〔第一冊〕

詩

癸亥除夜入直諫院……………(一)
卽事……………(一)
尹鈴平君挽辭……………(一)
入直呈諸同舍……………(一)
長湍路上還京作……………(一)
東亭廉相國爲前後門生設宴興邦……………(一)
次韻賀護軍權文毅辭職赴試遂擢高第……………(二)
北風歌……………(二)
乞櫻桃……………(二)

六月十五日諸郎會于慶龍予以瘡不赴……………(二)

昌谷成密直與趙判事唱和詩韻凡十一篇次寄趙判事韻自註判事諱云化自號石

澗栖霞叟
隱于漢南……………(二)

新亭韻……………(三)

自叙韻……………(三)

見寄韻……………(三)

有感……………(三)

雨中有感……………(四)

入京韻自註成公以誣得罪竄後蒙赦入京詩云半途已見風波惡猶自悠悠宦海間

思鄉韻……………(四)

邀東谷韻……………(四)

詠竹韻自註成相公與趙公唱和之詩止此

苦熱行……………(四)

十二徒避熱口號……………(五)

錄翊衛軍語……………(五)

送慶尙道按廉李司藝十四韻……………(六)

送全羅按廉陳正郎十四韻	(六)
宿葦浦	(七)
途經浚貌西丘有懷往事	(七)
送息菴遊方	(七)
宿村舍	(八)
固城君挽辭杏村李侍中之胄	(八)
題覺菴竹月軒	(八)
開城君宅落成之宴奉呈漁者丈前口號	(八)
草屋歌并序	(八)
華月吟	(九)
次遼使詩韻 <small>桑麟</small>	(一〇)
送遼使	(一〇)
六月二十二日與仲氏陪家君到慶龍寺終日雨不止因成三首	(一〇)
山中孤桐喻尹生員次權代言韻	(一一)
自解四篇奉呈李斗帖	(一一)
同年合肉宴奉呈恩門牧隱相國	(一二)

題延安府聚景樓公少時作	(三)
題漁村詩卷 <small>孔伯共</small>	(三)
樹字用古人韻送生員李文和歸觀	(三)
上書後卽蒙俞允仍命更寫全文以進不勝慶忭作詩呈諸同舍	(三)
賀崔元帥 <small>茂先</small> 破鎮浦倭船 <small>公始作火炮</small>	(三)
送砧上人歸金生寺	(三)
江陵吏全思祐惠魚以詩寄之	(三)
壺峯贊 <small>并序</small>	(四)
右贊御製	(四)
右贊賜鉢	(四)
右上壺峯	(四)
送詔書使國子學錄張溥使還	(五)
送詔書副使行人段祐使還	(五)
代人贈段行人使還	(五)
代人送詔命使國子典簿周卓使還	(五)
送詔命副使行人維英使還	(六)

代人送國子周典簿卓	(一六)
賀潘二相賜姓詩	<small>時王田于西海射猪墜 馬潘一矢亡之名福海</small>	(一六)
成均席上餞崔博士得芹字	克孚	(一七)
明妃曲	(一七)
梧桐歌贈田判事德成	<small>自註判事家 庭梧桐自生</small>	(一八)
黑翁行并序	(一八)

陽村先生文集卷之五

〔第一冊〕

詩

點馬行錄	(一)
丁卯四月十二日受點馬之命明日發京時進貢馬已到義州	(一)
宿龍泉帖	(一)
慈悲嶺僧舍	(一)
入平壤城	(一)
大同江上見元帥李公所作官船	(一)

早發向安州	(一)
東臨路上	(二)
過靜州	(二)
次義州板上韻	(二)
鴨綠江泛舟	(二)
婆娑府野闕進貢初運馬一千匹	(二)
次麟州壁上孔伯共韻	(三)
宿東臨站贈龍州守全侯	(三)
宣州路上有感	(三)
大同江上送唐令還都	(三)
宿肅州	(三)
嘉州路上逢樞密直自京師還欽蒙	(三)
宣諭許令本國冠服皆襲華制長壽	(三)
端午日隨州點馬	(四)
泰州山村	(四)
入撫州張萬戶出迎	(四)

安州野點馬	(四)
嘉州點馬	(四)
還平壤登浮碧樓	(四)
大同江泛舟	(四)
得都評議使牒又令畢點五運馬後還京事也明日發平壤又向安州路上作	(五)
題寓居安州天王寺壁上	(五)
登天王寺山亭戲贈曹少尹	(五)
清川江同安撫王公泛舟	(五)
聞蟬	(五)
聞三運押馬使柳公還至義州以詩奉寄	(五)
還京路上至中和次諸公韻	(六)
次黃州板上韻	(六)
又作一絕	(六)
路上謝牧伯	(六)
送孔伯共俯赴西北面三絕	(六)

送全右尹仲叔奔伯氏喪次崔判事韻	(七)
金正郎樓上次尹茂松韻 <small>紹宗</small>	(七)
七月十八日有感	(七)
夜宴王判事宅用屏上詩韻	(七)
戊辰年西都從軍作	(七)
次鄭摠郎西都所咏二首 <small>摠</small>	(八)
從軍	(八)
次李待制韻 <small>詹</small>	(八)
次浮碧樓詩韻	(八)
西都雜咏同李待制次其韻	(八)
箕子廟	(九)
九梯宮	(九)
觀風殿	(九)
麒麟窟	(九)
朝天石	(九)
聖容殿	(十)

風月樓	(一〇)
五月朔日蝕	(一〇)
次李待制韻	(一〇)
演雅次鄭摠郎韻	(一一)
思歸用故人韻	(一一)
憶踐	(一一)
憶黔童 <small>即踏去年六月一日生</small>	(一一)
偶吟	(一二)
端午日次李待制詩韻	(一二)
又寄呈李待制	(一二)
是日與諸公冒雨泛舟	(一二)
次朴摠郎韻記擊毬事	(一三)
次李待制西都卽事詩韻	(一三)
聞尹三宰留都下世珍	(一三)
路上鏡折李待制贈皮條以詩爲謝	(一三)
次鄭摠郎詩	(一三)

謝人惠魚	(一三)
宗兄開城宅聞胡歌樂而解其意	(一四)
西都雜咏三首	(一四)
葦葦扇子	(一四)
澤蘭拂子	(一四)
骨骨鳥 <small>自註西都人言此鳥多則麻不成</small>	(一四)
駕幸成州溫井扈從路上作	(一四)
歇馬路傍獲麕兒	(一四)
次古泥城	(一五)
渡慈州灘望高氏山亭	(一五)
駐蹕溫井	(一五)
記所見	(一五)
次李待制詩韻	(一六)
次韻李待制賀李內相受賜倭扇	(一六)
春日城南卽事 <small>鄭三峯批云語奪造化</small>	(一六)
戊辰冬十月二十四日奉西北面宣慰之命	(一六)

龍州路上 <small>時牧隱奉使朝京</small>	(一六)
到義州謁恩門牧隱侍中.....	(一七)
次烏川鄭相國韻題義州義順館板上夢周.....	(一七)
宿郭州山村.....	(一七)
到平壤城.....	(一七)
座主牧隱相國自京師回出迎興義路上作.....	(一七)
陽村先生文集卷之六	
[第二册]	
詩	
奉使錄.....	(一)
六月辛丑出宿于金郊是日雨甚.....	(一)
留平壤城都巡問使陸公麗設宴醉後述懷.....	(一)
風月樓賞蓮 <small>進退格</small>	(二)
發隨州路上有感.....	(二)
宿義州.....	(二)

寄書報家.....	(二)
雨中渡鴨綠江.....	(三)
湯站路上賦蚊蟲.....	(三)
宿開州城北懷古.....	(三)
過龍鳳站溪上歇息.....	(三)
途中作.....	(三)
宿連山站北始有把截軍及女真人家.....	(四)
過蚶水站有百戶王禮設酒.....	(四)
宿頭館站近郊.....	(四)
入遼東城.....	(四)
留遼東在城驛.....	(四)
都司指揮僉事張公興設宴於其第以慰之.....	(五)
七月朔丁卯都指揮使賈公珍饋羊酒朱胡兩公皆送酒餼.....	(五)
宿鞍山驛.....	(五)
宿牛莊驛古劉家莊.....	(五)
過沙嶺驛時有總兵官領海船數百隻輸賞賜錢泊于遼河.....	(六)

晚發沙嶺夜行九十里達朝至板橋驛……………(六)
 至十三山驛……………(七)
 宿連山島驛……………(七)
 過曹家莊驛路上望石塔……………(八)
 過東關驛……………(八)
 宿沙河驛……………(八)
 過瑞川古城……………(八)
 宿山海衛遷安驛……………(八)
 過榆關宿蘆峯驛……………(八)
 到永平衛灤河驛指揮來請至衛司廳設宴……………(九)
 指揮管童前元丞相也速之子請留對以王事之急乘月渡小大二灤河
本國奇平章之婿也
 宿七家嶺驛路上許鎮撫唱月明行路好一句因足之……………(九)
 宿永濟驛路上詠墩子……………(九)
 宿薊州漁陽言述古今……………(九)
 有北胡僞左承勝吉挈家投降燕府來宿是驛……………(九)
 入北平城前元舊都也……………(十)

到燕臺驛進見燕府先詣典儀所(七月十五日)……………(十)
 十六日朝典儀所引入端禮門……………(十)
 典儀所官張公請題燕山老人關山行旅圖……………(十)
 十七日將辭燕府王命葉奉嗣饋食如前令留賜宴……………(十一)
 十八日進辭時王詣佛寺燒香……………(十一)
 是日到通州通津驛發船……………(十一)
 十九日到直沽里……………(十一)
 過流河驛……………(十一)
 過滄州長蘆縣……………(十一)
 過磚河驛燂湯洗澡……………(十一)
 冒雨過吳橋縣連窩驛……………(十一)
 過德州安德驛船上有古扇尹評理請題一絕……………(十一)
 四女樹……………(十一)
 過故城縣……………(十一)
 過武城縣甲馬營驛……………(十一)
 舟中記事……………(十一)

次船板上詩韻……………(一四)
 過魏家院蓮滿洲渚連亘十餘里……………(一四)
 過閘口……………(一四)
 過安山湖……………(一五)
 入黃河……………(一五)
 黃河……………(一六)
 過鄆城縣兩河口……………(一六)
 過汶上縣關河驛又過濟寧州城南驛……………(一六)
 過魚臺縣谷亭驛次船板詩韻……………(一七)
 過沛縣泗亭驛……………(一七)
 過徐州夾溝驛陰雨舟中述懷……………(一七)
 過荆山店……………(一七)
 夜雨泊徐州城下……………(一七)
 過房村驛……………(一八)
 過邳州下邳驛……………(一八)
 八月初一日夜過宿遷縣鍾吾驛……………(一九)

過清河口驛……………(一九)
 發淮陰驛……………(一九)
 過白馬范光二湖……………(一九)
 過高郵州……………(一九)
 過儀真縣……………(一九)
 渡楊子江……………(二〇)
 宿龍江驛……………(二〇)
 奉天殿朝見後賜宴于會同館……………(二〇)
 謁文華殿……………(二〇)
 初八日進謝賜宴仍辭……………(二〇)
 聞十國親王皆朝京師……………(二一)
 初九日朝在會同館欽聞駕幸穎國公傅友德之第問其疾……………(二一)
 是日出宿龍江時帝以王年尙幼亦不許入朝……………(二一)
 儀真舟上遇其衛鄭夕郎只金義二指揮立談而別……………(二一)
 重過高郵城……………(二一)
 舟中細雨……………(二二)

漁父	(三)
淮陰驛阻風雨	(三)
宿小金城驛	(三)
宿沐陽縣僮陽驛賦中秋月	(三)
過興國驛	(三)
過上林渡有老夫操舟	(三)
十六夜宿上莊驛	(三)
宿付瞳驛逢贊成事安公宗源知密直皇甫公琳同宿而別	(三)
宿桃林驛	(三)
宿諸城縣東關驛	(四)
宿丘西驛	(四)
宿諸橋驛	(四)
次圃隱鄭贊成韻	(四)
宿黃縣龍山驛逢欽差二人同飲	(四)
宿登州蓬萊驛詠懷古迹四絕	(四)
留蓬萊驛待風次壁上尹贊成韻	(五)

翌日又用前韻	(五)
曉雨作	(五)
紀地名詩三首淹滯之中數其經歷也	(五)
登蓬萊閣	(六)
謁龍神廟	(六)
九月初二日發船泊沙門島待風	(六)
宿島上村家聞鄰婦夜哭	(六)
初三日曉有南風欲發船因一總旗舡未至留泊而待	(七)
初四日二更得風發舡	(七)
過鳴呼島	(七)
初五日到旅順口風順不疾舟行甚安	(七)
宿木場驛紀事四絕	(八)
雨中過金州途中作	(八)
夜到孛蘭店驛	(八)
留孛蘭店驛	(八)
初九日出車一兩曉發孛蘭	(八)

宿麻河鋪車遲不及復州驛也	(一九)
早發過復州驛舍車得馬	(一九)
宿蓋州驛	(一九)
重過鞍山驛	(一九)
題隱微堂卷	(一九)
春暉堂	(一九)
壽慶堂	(三〇)
發遼東宿鐵場村	(三〇)
過鴨綠江	(三〇)
過鐵州聞知州妻死節	(三〇)

陽村先生文集卷之七

〔第二册〕

詩

南行錄	(一)
云陽村誌	(一)

大臨河浩亭字也

次永州小樓詩韻	(一)
次清道郡清德樓詩韻	(二)
次密城嶺南樓韻	(二)
次金海燕子樓詩三韻	(二)
巖遜朴君能詩善書予舊交也不見已十餘年矣時客于金海相見叙舊因贈予詩累十篇次其韻酬之	(二)
<small>自註朴詩當別錄藏之以爲後觀</small>	
又酬巖遜見寄	(三)
金海舊無倅去年以合浦節制使兼領府使以其位尊職重不能親莅府事又置判官以副之吾友李君敢方爲之今聞節制使解其兼而府使復出李君以爲節制不兼領則判官亦當革卽棄去群議以爲府使雖復判官不能遽廢且慕李君爲政皆願其復來岩遁作詩以送予亦次之卽前詩韻也	(三)
梁州城樓詩并序	(四)
又用前韻酬岩遁	(五)
送金陽圭公移錫七長寺詩并序	(五)
次許隨州亭上詩韻	(六)

密城守余公寄惠銀魚謹用嶺南樓上收隱詩韻二絕一呈余公一
 呈郡教授官同年朴君……………(六)
 次龍宮客舍板上詩韻……………(七)
 次天德社觀空樓詩韻……………(七)
 次韻奉簡知申事子通學士權執經……………(七)
 甫州路上別陶隱先生……………(八)
 次安東映湖樓詩韻……………(八)
 送龍宮郡守奉牋入賀新正……………(八)
 海印寺……………(八)
 宿甘露寺……………(八)
 病中得聞按廉使成均司藝李公文和承命上道不及拜餞吟成絕
 句四首奉呈左右伏希一粲……………(九)
 題友人村居五首……………(九)
 春……………(九)
 夏……………(九)
 秋……………(九)

冬……………(一〇)
 到益州……………(一〇)
 書懷……………(一〇)
 月夜奉謝知州事惠酒……………(一〇)
 中秋……………(一一)
 是日有雲及晚開霽月色清朗又題一絕……………(一一)
 望山有感……………(一一)
 全州倅歸妓不納後又惠餽酒以詩奉謝……………(一一)
 九月朔日蝕……………(一一)
 九日金公益精李公斯正諸君携酒來訪金公次書懷詩韻又次以
 答金公偶與金壯元同名者……………(一二)
 子塾康先生馳駟見訪別後寄詩二首其一賀圃隱相國復職扈駕
 南都也次其韻答之……………(一二)
 自叙……………(一二)
 賀圃隱……………(一二)
 子塾先生詩并錄後一首爲圃隱作康好文……………(一二)

康先生又寄長句四韻次其韻	(一三)
康先生詩又錄	(一三)
又次一首	(一三)
冬十有一月蒙恩放歸陽村次普能師韻	(一三)
題盾谷李公書室	(一四)
題天台馥庵上人手卷圖後	(一四)
次韻留別乃乳禪師	(一四)
庚午除夜	(一五)
辛未元月	(一五)
謝竹州守朴公惠菘	(一五)
次卜博士季良見寄	(一五)
謝安觀察惠蓴二首敬良	(一五)
陶大老惠扇兼示嘉章八句之歲字畫甚細奉讀再四敬嘆無已謹	(一五)
賡高韻四絕二謝扇二紀德	(一五)
林令公濕挽詞	(一六)
驪江宴集詩并序	(一六)

題梅谿上人送平田詩卷末六絕	(一八)
紀二上人相遇	(一八)
紀梅谿憶平田	(一八)
紀平田憶梅谿	(一九)
絕磣二首松風軒益倫	(一九)
賀門下左侍中平壤伯趙公浚	(一九)
送楊禪和	(二〇)
上呂泉權相國仲和詩并序	(二〇)
送神印宗玉明上人	(二一)
安判門下挽詞宗源	(二一)
卞開城妻氏挽詞	(二一)
送浮屠	(二一)
題河開城畫梅卷六絕	(二二)
蓴浮曉溜	(二三)
枝橫籬落	(二三)
疎影橫水	(二三)

暗香浮月	(二三)
橫隔片煙	(二三)
半粘殘雪	(二三)
謝三峯惠蠟燭	(二三)
贈巖遁	(二三)
寄報令監務次巖遁詩韻	(二三)
寄巖遁	(二四)
寒食城東卽事	(二四)
次鄭大卿韻	(二四)
偶題	(二四)
題清心堂 <small>內臣委仁當自扁</small>	(二五)
送幽巖上人	(二五)
贈信闕上人	(二五)
闕上人訪予予亦以詩送之	(二五)
送華嚴濟生君	(二五)

陽村先生文集卷之八

〔第二冊〕

詩

新都八景次三峯鄭公道傳韻	(一一)
畿甸山河 巫山一段雲	(一一)
都城宮苑	(一一)
列署星拱	(一一)
諸坊碁布	(一一)
東門教場	(一一)
西江漕泊	(一一)
南渡行人	(一一)
北郊牧馬	(一一)
次三峯遊真觀寺詩韻	(一二)
次三峯東池詠蓮詩韻四首	(一二)
藏義寺清齋奉教陪復齋鄭政堂 <small>總至撰醮詞次其韻二首</small>	(一二)
次復齋贈安養詩韻	(一二)

上三峯詩并序	(三)
送李公觀察全羅得談字	(五)
次筠淳韻送忠清道都節制使李公還營	(五)
題海松卷子	(五)
題原平板上 <small>古瑞原郡</small>	(五)
偶題	(五)
次昌寧成侍中汝完賀金政丞士衡詩韻	(五)
送吉祥法主進退格	(六)
哭柳令公 <small>潘</small>	(六)
次牧隱先生韻題門生鄭通州詩軸	(六)
次牧隱先生韻送仁山禪者遊方	(六)
送忠清道觀察使韓公 <small>尙敬</small>	(六)
韓山伯牧隱先生李文靖公挽辭	(七)
舍弟遇奉傳鶯詩二篇詞旨婉曲說盡人情奉讀之際深有所感發厚	(七)
意之重無以報謝敢不寶藏晨昏諷詠以自觀省也今謹依韻各和	(七)
其意奉呈雙梅堂左右伏冀更加剪拂以終惠焉 <small>雙梅堂李文安公詹自號也</small>	(七)

風荷	(八)
雨荷	(八)
偶題	(八)
咸中樞承慶挽辭	(八)
題國初群英真跡	(八)
次韻題雞林府吏崔佐詩卷并序	(九)
次松堂趙政丞二首 <small>浚</small>	(一〇)
六月初十日承招入集賢殿聽候時諸公已散唯尹博士發獨在	(一一)
入承旨房次李學士韻	(一一)
入直	(一一)
金中樞妻氏挽辭 <small>自註時中樞奉使未還</small>	(一一)
次韻贈清川伯李公居仁	(一一)
王評理興挽辭	(一一)
次獨谷贈呂興伯閣公壽詩韻效其體	(一一)
次靈通杜主寄扇成政丞詩韻四首	(一一)
次古人畫梅韻與李學士同賦 <small>詹</small>	(一一)

次李學士題扇 <small>詹</small>	(三)
次李學士詹賀海道都節制使金公英烈營造戰艦.....	(三)
次李學士詹宿國清寺詩韻.....	(三)
次扇上詩韻.....	(三)
次洪公吉叟還歸舊宅詩韻 <small>許中贊文敬公墳也</small>	(三)
追憶三峴舊遊又成一首.....	(三)
次奉安驛亭詩韻.....	(四)
渡龍津有感復用前韻.....	(四)
吳濱驛.....	(四)
拜政堂堂參後呈諸同列.....	(四)
次左政丞成公石璘喜雨詩韻.....	(四)
哭復興君趙公 <small>○戊辰誅林廉之事始起公斬廉與邦家奴也</small>	(五)
題李參贊詩卷 <small>居易</small>	(五)
李相先瑩焚黃賀詩予既序之恐廢和者有次韻牽強之病別作長句	
四韻以唱後作者使皆聽其自爲也.....	(五)
得禁字題孟先生詩卷 <small>希道</small>	(五)

送柳侍史赴密陽得送字 <small>斗明</small>	(一五)
送權侍史弘點馬.....	(一六)
奉謝江原道都觀察使韓公尙敬惠東坡和陶詩兼示所作關東雜詠.....	(一六)
題靈通寺樓.....	(一七)
哭朴密直 <small>永忠</small>	(一七)
謝江原道使相家語玉燭之惠 <small>韓尙敬</small>	(一七)
次蘭坡李居仁聯句丞賀李政丞 <small>居易</small>	(一七)
又得三字.....	(一七)
次韻謝同年李咸陽惠紙 <small>恒茂</small>	(一八)
送咸觀察使 <small>傳霖</small>	(一八)
次趙雨亭韻答鄭春谷趙諱 <small>璩鄭諱擢</small>	(一八)
次春谷韻.....	(一八)
復次前韻.....	(一九)
復用前韻.....	(一九)
右酬清城 <small>清城君即春谷</small>	(一九)
右訓永嘉 <small>永嘉君諱弘先生曾王父菊齋文正公於弘爲高祖</small>	(一九)

右酬清城	(三〇)
右酬安石	(三〇)
右贈天用	<small>天用與一眉壽字</small>	(三〇)
右記安石樂甫水州會合	<small>樂甫鷄城君李公來字</small>	(三一)
右贈樂甫	(三一)
送京畿按部金議郎	<small>端</small>	(三一)
次鄭判中樞洪韻送同年金判事	<small>擊</small>	(三一)
送岬山住持圓公詩并序	<small>性圓</small>	(三二)
詠陳氏宅槎峯次韻	<small>義貴</small>	(三三)
次雙梅堂猫乳詩韻	(三三)

陽村先生文集卷之九

〔第二册〕

詩

次天使淮南陸伯瞻願春宴曲	(一)
次伯瞻見贈韻二絕	(一)

次伯瞻見贈韻二首	(一)
次伯瞻春日見寄韻二首	(一)
題伯瞻釣叟圖	(二)
昨見釣叟圖作太公賦之及觀佳作乃賦子陵也故又次韻以太公壓	(二)
子陵	(二)
謝伯瞻梧竹圖	(二)
次伯瞻韻二首	(二)
送禮部陸伯瞻使還	(二)
又	(三)
代人贈送伯瞻使還二首	(三)
送端木待詔使還詩	<small>禮</small>	(五)
送章寺丞使還	<small>謹</small>	(五)
送林行人使還	(五)
送相監生使還	(六)
題獸醫王名仲遠字說後	(六)
題獸醫周驥彥德字說後	(六)

次獨谷韻送三道漕轉都體察使林公整……………(七)
 辛巳冬十月初九日太上王浴于平州溫井殿下問安次于岐灘其夜
 微雪……………(七)
 次彌勒堂……………(七)
 次溫井用岐灘韻……………(七)
 奉教製進次使臣少卿祝孟獻韻二首……………(七)
 奉教製進次祝少卿冬至詩韻二首……………(八)
 代人贈祝少卿使還三首……………(八)
 贈送臨清釣隱詩并序……………(九)
 送端木天使智……………(二)
 送周監生使還……………(二)
 奉教製進送潘行人使還……………(三)
 次端木天使詩韻送董監生使還……………(三)
 次天使東八站路上詩韻口號俞士吉……………(三)
 觀獵奉呈天使三大人……………(三)
 再用前韻奉呈天使三大人……………(三)

次天使僉都御史俞公詩韻士吉……………(三)
 送內使楊公使還……………(三)
 僉都御史俞公使還王命臣近護送鴨綠江邊士吉……………(三)
 洪武二十九年夏內使溫公奉太祖高皇帝之命來使小邦我老王亦
 命臣近隨車赴京欽蒙聖恩慰諭而還越三十五年冬溫公又奉新
 天子詔命以來王又命臣近護送鴨綠江邊……………(三)
 送王天使使還……………(四)
 哭成大司憲石崙……………(四)
 送金堤縣令李伯撰……………(四)
 貢院見杏花用屏上詩韻奉呈諸公……………(四)
 奉教和進 太上王製詩韻……………(四)
 送李右使稷奉使……………(四)
 送完山府尹尹公坤……………(五)
 送梁秀才允悔歸觀……………(五)
 奉次銀臺諸學士詠梅詩韻……………(五)
 送平陽君趙公赴完山自註時踐
為半刺……………(六)

次獨谷韻賀李代言升商掌試成均	(一六)
題柳少年山水圖方善	(一六)
趙政丞浚夫人挽辭	(一七)
奉次獨谷成政丞石璘題李政丞居易清樂堂詩韻	(一七)
次韻謝雨亭尊羹見餉二首	(一七)
送邊文州處厚之任	(一七)
癸未正月二十三日大雨	(一七)
金典書瞻來過	(一八)
寄贈金同年舉乞竹	(一八)
漁父辭次雙梅堂用古人韻	(一八)
孔岩許公醉而墜馬戲贈一絕湊	(一八)
題昭格殿	(一八)
癸未九月晦奉香宿馬山驛其夜有雨朝至碧蹄驛墻菊盛開	(一八)
送前知申事權公執經出牧尙州	(一九)
復用乞竹詩韻寄金同年舉	(一九)
送張觀察使子忠	(一九)

送酒謝同年金公舉病中來過	(一九)
金居士雪中騎牛遊皴岩	(一九)
金侍中騎驟訪江西惠袁上人	(二〇)
書筵三絕奉呈諸公	(二〇)
寄監牧諸公	(二〇)
次雲岩禪老詩韻省敏	(二〇)
次獨谷韻賀金代言利	(二一)
次南贊成事在韻贈薛直提學偉	(二一)
次獨谷韻賀李代言拜參知議政升適	(二一)
送鐵化監務金泮嘗有思親詩文數篇	(二一)

陽村先生文集卷之十

[第二册]

詩

次獨谷韻賀尹代言思修效其體	(一一)
次雙梅堂見寄韻時公罷相在臨津別墅	(一一)

題僕氏三節堂詩卷	(二)
送東北面都巡問使呂公稱	(二)
次李僉書韻送全觀察使伯英	(二)
門生壯元大諫惠梨以詩答之	<small>根</small>	(二)
次尹參判司平祇詩韻	(二)
次韻寄鄭政堂	<small>擢自註時公被劾在城南</small>	(二)
乙酉正朝賜宴次獨谷詩韻	(三)
乙酉正月十四日夜夢見霽亭先生覺而賦詩	<small>參奉呈賢孫知座下李升適</small>	(三)
金都摠制乙貴挽辭	<small>自註母氏與弟相繼而逝</small>	(三)
題李使君殷詩卷得相字	(三)
哭知議政府事雙梅堂李文安公	<small>詹</small>	(四)
次星山君虞庭李公	<small>一稷</small> 題尹崇原祇新亭詩韻.....	(四)
雪中吟成五言唐律一首七言絕句二首	奉呈樂甫李學士來座下幸	(四)
傳誦於趙雨亭	<small>璞</small> 同加斤正.....	(五)
送僧之伽仰山	(五)
謝忠清道使相烏玉之惠	(五)

謝金甘露大禪師惠鶴翎扇雙張	(五)	
次內願堂惠扇詩韻	<small>省敏</small>	(五)	
次韻送文上人歸觀門生周晁弟僧	(六)	
次魯谷李同年	<small>恒茂</small> 詩韻二首.....	(六)	
次韻題吉再先生詩卷	(六)	
言志寄知申事朴公	<small>錫命</small>	(七)	
乙酉十月二十六日夜夢見鐵原侍中崔公	<small>瑩</small> 登高樓與賓客飲酒余	(七)	
在樓下望之吟成一句云高樓突几倚青空	未就其下公使人招余	(七)	
取吾胡床而去予逡巡未上而覺足成四韻	奉呈公之孫塔代言孟	(七)	
公以寓景慕之意云	(七)	
李政堂	<small>元紱</small> 挽辭.....	(七)	
病中寄弟直館遇	(八)	
謝韓弼善	<small>尙德</small> 惠牛心.....	(八)	
次張大司成德良謝作林亭記詩韻	(八)	
次韻奉送孔漢城	<small>俯</small> 承命往韓州書牧隱墓碑二首	碑河浩亭所製.....	(八)
雨亭趙安石惠雉	仍有詩次其韻以謝.....	(九)	

齒落	(一五)
自詠	(一五)
灰湯止渴	(一六)
客至	(一六)
西菘	(一六)
豆腐	(一六)
蓄菜	(一六)
五加皮	(一七)
五味子	(一七)
偶題	(一七)
薦門生前參軍金知迴	(一七)
蹈來餉	(一七)
梨	(一八)
柿	(一八)
薏苡	(一八)
薑	(一八)

選女	(一八)
夜坐二首	(一九)
謝議政府惠生獐	(一九)
生日自壽 <small>初十一月六日</small>	(一九)
次門生金參贊科詩韻	(一九)
次弟執義遇詩韻	(一九)
次弟執義詩韻四首轉呈吏曹諸公	(二〇)
右上左政丞成公石璘	(二〇)
右上判書星山君李公稷	(二〇)
右上知申事黃公喜	(二〇)
右上參議已下諸公	(二二)
次友人畫梅詩韻	(二二)
病鶴	(二二)
喜聞兒子吉川君又產一男	(二二)
春谷次拙詩見寄又用其韻奉答	(二二)
復用前韻奉答春谷	(二三)

送僧遊方 <small>已丑正月作</small>	(二)
復用絲字韻答安摠制 <small>魯生</small>	(三)
謝慶尙道觀察使鐵城君李公原卵醢新大口魚之惠.....	(三)
立春帖字 <small>已丑正月十二日</small>	(三)
謝領議政河公枉駕問病.....	(三)
次韻 <small>浩亭河嶺</small>	(三)
奉次領議政河公 <small>審</small> 感興詩五首.....	(三)
浩亭詩并錄.....	(三)
次許漢城 <small>衢</small> 詠雪韻.....	(四)
次韻謝東北面都巡問使林公 <small>整</small> 魚肉之惠.....	(四)
陽村先生文集卷之十一	
〔第三册〕	
記類	
寶巖記.....	(一)
古澗記.....	(二)

漁村記.....	(三)
白雲軒記.....	(五)
牧庵記.....	(六)
四佛山彌勒庵重創記.....	(七)
寧海府西門樓記.....	(八)
興海郡新城門樓記.....	(二)
龍安城漕轉記.....	(四)
拙齋記.....	(六)
淮月軒記.....	(七)
陽村先生文集卷之十二	
〔第三册〕	
記類	
提州鄉校記.....	(一)
水原萬義寺祝上華嚴法華法會衆日記.....	(二)
演福寺塔重創記 <small>奉教撰</small>	(四)

盈德客舍記	(六)
平壤城大同門樓記	(七)
延安府鄉校記	(九)
清心堂記	(一一)
義興三軍府舍人所廳壁記	(一二)
貞陵願堂曹溪宗本社興天寺造成記	(一四)
津寬寺水陸社造成記	(一六)
大灘院樓記	(一八)

陽村先生文集卷之十三

〔第三册〕

記類

農隱記	(一)
清河縣義倉廨舍記	(二)
克敵樓記	(三)
德方院記	(五)

廣灘院記	(六)
五冠山聖燈庵重創記	(七)
獨樂堂記	<small>丹陽伯禹公 玄寶自扁</small>	(九)
五臺山獅子庵重創記	(一一)
德安殿記	(一二)
雨亭記	(一三)
大和樓記	(一五)
月波亭記	(一六)

陽村先生文集卷之十四

〔第三册〕

記類

信齋記	<small>韓公諱尙敬</small>	(一)
五臺山觀音菴重創記	(二)	
息波亭記	<small>李公諱原</small>	(四)
利川新置鄉校記	(五)	

林亭記	(七)
永興府學校記	(八)
五臺山西臺水精庵重創記	(一〇)
法王寺祖師堂記	(一一)
金郊驛樓記	(一二)
南谷記 <small>張躋</small>	(一四)
月江記	(一五)
尙州風詠樓記	(一六)

陽村先生文集卷之十五

〔第三冊〕

序類

送慶尙道按廉典理呂摠郎序	(一)
送金堂後序 <small>爾音</small>	(二)
送生員李文和歸觀安東序	(四)
送金少年自知之陽山詩序	(五)

贈李生序 <small>攀</small>	(六)
贈華嚴中德義砧序	(八)
送交州道林按廉序 <small>球</small>	(八)
送新進士韓有紋序	(一〇)
贈玕野雲上人後序	(一二)
送雲雪岳上人序	(一三)
贈金中顯方礪詩序	(一五)

陽村先生文集卷之十六

〔第三冊〕

序類

送崔生員有孫 <small>改名自海</small> 歸觀慶尙之星山序	(一)
送斐仲員修撰晒史七長寺序 <small>規</small>	(二)
送羸菴上人游方詩序	(三)
送國子典簿問先生俾使還詩序	(五)
送行人段公祐使還詩序	(六)

鄭三峯道傳文集序	(七)
送金謙將軍之任安城序	(九)
賀門下左侍中平壤趙公浚詩序	(一〇)
送三興師遊方序 <small>紹安</small>	(一一)
心氣理三篇序	(一三)
心氣理三篇後附集序	(一五)

陽村先生文集卷之十七

〔第四册〕

序類

送明上人詩序	(一)
送判中樞李公觀察全羅詩序	(二)
送忠清道都觀察使韓公尙敬詩序	(四)
贈孟先生詩卷序	(五)
送密陽朴先生敦之奉使日本序	(七)
送懶庵上人遊金剛山詩序	(九)

柳巷先生韓文敬公脩文集序	(一〇)
佛氏雜辨說序	(一一)
鄉藥濟生集成方序	(一三)
達空首座問答法語序	(一五)

陽村先生文集卷之十八

〔第四册〕

序類

竹崗詩藁序	(一)
李參贊居易焚黃先塋賀詩序	(二)
送柳侍史斗明赴密陽詩序	(三)
賀左政丞李公居易聯句序	(四)
澄心庵詩序	(五)
賀金侍中詩序 <small>士衡</small>	(七)
送祝少卿使還詩序	(八)
送三司右使李虞廷稷奉使朝京詩序	(一〇)

送潘行人使還詩序	文奎	(三)
送董監生使還詩序	(四)
送栗監生詩序	(五)

陽村先生文集卷之十九

[第四册]

序類

送張監生詩序	(一)
送周監生序	(二)
送天使端木公使還詩序	智	(三)
上製詩序	奉教撰	(五)
題三節堂詩後序	(六)
送前知申事權公執經出牧尙州序	(七)
馬氏思親堂圖詩序	蘭	(九)
三國史略序	(十)
後者英會序	(三)

送平壤府尹李公原詩序	(三)
賀金代言科詩序	(五)

陽村先生文集卷之二十

[第四册]

序類

玉溪詩序	(一)
恩門牧隱先生文集序	(一)
送濟州牧使李君元恒詩序	(三)
圓齋鄭文簡公公權文集序	(四)
李行錄後序	(五)
題吉再先生詩卷後序	(七)
送摠制成公石珣奉使赴京詩序	(八)
陶隱李先生崇仁文集序	(十)
松堂趙政丞浚詩藁序	(十一)
送慶源鎮都兵馬使辛公有定序	(十三)

送延城君金公輅出鎮平壤詩序……………(一四)
贈朴清道廬墓詩序……………(一五)

陽村先生文集卷之二十一

〔第四册〕

說類

舟翁說……………(一)
贈李培之四畫說……………(二)
童頭說金震陽自號……………(三)
騎牛說李行……………(四)
義民字說……………(五)
李氏兄弟名字說……………(七)
成自玉說後石璿……………(八)
崔子固說後關……………(九)
子虛說……………(一〇)
安石說……………(一一)

三友說……………(三)

金公經驗說……………(四)

金氏名字說字學源……………(五)

傳類

司宰少監朴強傳……………(一六)
優人孝子君萬傳優人該稱才人……………(一九)
儒生裴尙謙傳……………(二二)

陽村先生文集卷之二十二

〔第四册〕

跋語類

天文圖誌……………(一)
歷代帝王混一疆理圖誌……………(二)
別願法華經跋語……………(二)
水陸儀文跋(奉教撰)……………(三)
經濟文鑑監司要略跋……………(四)

曹嶽拈頌跋	(五)
鄉藥濟生集成方跋	(六)
書蘭坡先生詩卷後居仁	(七)
學則跋	(八)
新刊釋奠儀式跋	(九)
平原君趙公璞詩卷跋	(一〇)
林氏詩軸跋	(一一)
鑄字跋	(一二)
妙法蓮華經跋	(一三)
書澤隱詩卷後	(一三)
大般若經跋	(一三)
題信齋江原雜詠前集後	(一四)
又題信齋江原雜詠後集	(一四)
金書妙法蓮華經跋	(一五)
金書妙法蓮華經跋	(一六)
繡成願佛跋	(一六)

陽村先生文集卷之二十三

[第四册]

銘類

鑄鍾銘并序	(一)
子復銘 <small>呂江閔公 安仁字</small>	(二)
琇峯銘 <small>自註玄上人之自 號有抵隱之意焉</small>	(二)
近峯銘	(二)
獨秀銘 <small>上人海 峯道號</small>	(三)
覺庵銘爲先上人作志先	(三)
題四字銘示兒子吉川君跬	(三)
公	(三)
勤	(三)
寬	(三)
信	(三)

讚類

讚勝羸庵受賜御札	(三)
三峯先生真讚	(四)
容貌	(四)
氣象	(四)
材器	(四)
學問事業文章	(四)
慶淑宅主真讚	<small>三峯夫人崔氏</small>	(四)
御札李氏名讚	<small>并序</small>	(五)
韓公尙質畫像讚	<small>并序</small>	(六)
牧隱先生畫像讚	(六)
伯兄右使公畫像讚	<small>諱和卒諡恭景公</small>	(六)
崔文憲	<small>諱冲真讚</small>	(七)
祭文類		
丙子六月十一日天使楊帖木兒等來赴十三日告宗廟別祭文	(七)
勅祭白岳鎮國伯及都邑五方地祇之神	<small>新都城開基文</small>	(八)
祈雨祭文	(八)

代夫人祭尹狀元文	<small>紹宗</small>	(九)
門下府祭判三司事樞公	<small>長壽文</small>	(九)
祭文	(一〇)	
代趙雨亭祭漁隱先生文	<small>呂興府院君閔公霽雨亭其婿諱瑛</small>	(一〇)
祈雨祭文	<small>奉教撰</small>	(一一)
祭朴子虛文	<small>兒子行</small>	(一二)
代金以時祭雙梅堂文	(一三)	
代門生等祭恩門雙梅堂文	(一四)	
祭文	(一四)	
代伯兄祭夫人吳氏文	(一四)	

陽村先生文集卷之二十四

〔第五册〕

事大表箋類

請仍屬開元路舊民表	(一)
賀龜見河清表	(二)

三散千戶李赤里不花等十處人員准請謝表	(二)
謝冠服書籍等表	(三)
郊祀改元詔書表	(四)
謝大尉表	(四)
賀平納哈出表	(五)
謝諡號表	(五)
請子弟入學箋	(五)
正朝表	(六)
聖節表	(六)
賀元日表	(七)
賀元日箋	(七)
同	(七)
賀千秋箋	(八)
本朝箋文類		
生日賀箋	(八)
冬至箋	(八)

八關賀箋	(九)
賀親祀大廟箋 乙亥年	(九)
生日箋	(十)
辭功臣賜物壘受箋	(十)
賀誥命印章箋	(十一)
進三國史略箋	(十一)
冬至箋	(十二)
同	(十二)
同	(十三)
賀冊世子箋	(十三)
同	(十三)
同	(十四)
同	(十四)
同	(十四)

陽村先生文集卷之二十五

〔第五册〕

本朝箋文類

賀册中宮箋	(一)
同	(一)
同	(一)
同	(二)
賀册妃箋	(二)
賀册世子箋	(二)
誕日賀箋	(三)
賀册世子箋	(三)
陳情箋	(三)
辭免起復花山君箋	(六)
不允批答(郎舍趙庸製)	(七)
請辭職終制箋	(八)
辭免本職箋	(九)

陽村先生文集卷之二十六

〔第五册〕

不允批答(郎舍製)

不允批答(郎舍製)	(一)
-----------	-------	-----

本朝箋文類

請辭免本職終考禮經節次箋	(一)
不允批答(郎舍柳思訥製)	(二)
筭字類	(三)
陳情筭字	(三)
辭免起復筭字	(五)
辭免起復藝文館大提學筭字	(六)
啓本類	(七)
辭免贊成事啓本	(七)

陽村先生文集卷之二十七

〔第五册〕

疏語類

太一年許不利軍船下海波上安靜願仁王法席疏	(一)
妙通寺水陸齋疏	(一)
廣明寺行孤鳴群鴉驚鳥爭噪毘盧舍那道場兼太一禳疏	(二)
非時雨下雷電祈禳寶星道場疏	(三)
光岩寺重勅第三法會慶讚華嚴三昧懺疏	(三)
金光經法席疏	(四)
誕日金剛般若披覽法席疏	(五)
別願法華披覽兼消災法席疏	(六)
觀音窟落成慶讚華嚴經疏	(六)
檜岩寺文殊會疏	(七)
水陸齋疏	(八)
使臣柳珣鄭摠鄭臣義等災厄消除速還本國之願疏(奉教撰)	(八)

陽村先生文集卷之二十八

〔第五册〕

疏語類

一心真如法席疏(奉教撰)	(一)
使臣柳珣鄭摠鄭臣義等速還本國之願 <small>行使司</small> 疏	(一)
水陸齋疏	(二)
觀音窟行水陸齋疏(奉教撰)	(二)
顯妃殿行疏(奉教撰)	(三)
演福寺行大藏經披覽疏	(三)
荆新都疏	(四)
夫薦妻小祥齋疏	(四)
懺經法席疏 <small>代人作</small>	(五)
薦父疏 <small>代曹府尹庶作</small>	(五)
法華三昧懺法席疏 <small>代人作</small>	(六)

陽村先生文集卷之二十九

〔第六册〕

青詞類

祈雨太醮禮青詞文 <small>(奉教撰)</small>	(一)
功臣都監行大上殿誕日祝壽北斗醮禮青詞文.....	(二)
功臣都監誕日醮禮青詞.....	(二)
功臣都監北斗醮禮青詞.....	(三)
功臣都監祝上北斗醮禮青詞文.....	(三)
誕日醮禮青詞文.....	(四)
六丁神醮禮青詞.....	(四)
救厄兼鎮兵六丁神醮禮青詞.....	(五)
六丁神醮禮青詞.....	(六)
本命醮禮青詞.....	(六)
靈寶道場青詞.....	(七)
金星獨醮青詞.....	(七)
北帝神兵護國道場青詞.....	(八)

槩城醮青詞.....	(九)
------------	-----

陽村先生文集卷之三十

〔第六册〕

教書類

敬孝大王祔廟配享功臣教書.....	(一)
教判厚德府事韓脩.....	(二)
教判三司事鄭道傳.....	(三)
教藝文春秋館文學士鄭摠.....	(四)
教母弟靖安公.....	(五)
建儲副教.....	(六)
教王世子 <small>太宗諱</small>	(八)
答領司平府事河崙進樂章教書.....	(九)
教書.....	(十)

陽村先生文集卷之三十一

〔第六册〕

上書類

- 上書自註此書雖非南行所作即為南行之張本故冠之……………(一)
- 請罷私兵狀……………(五)
- 壽昌宮災上書……………(七)
- 論文科書……………(三)

陽村先生文集卷之三十二

〔第六册〕

上書類

- 論遷廟狀……………(一)
- 請停遷都一書……………(一)
- 請停遷都二書……………(四)
- 上書丙戌年八月日……………(六)
- 上書……………(七)

陽村先生文集卷之三十三

〔第六册〕

雜著類

- 議政府狀……………(二)
- 薦金泮從理書……………(二)
- 論臺職任啓本……………(三)
- 玉册
- 太上王封崇玉册文(奉教撰)……………(一)
- 哀册
- 王后哀册……………(一)
- 謝書
- 謝端木先生書智……………(三)
- 願文
- 釋王寺堂主毘盧遮那左右補處文殊普賢腹藏發願文(奉教撰)……………(四)
- 田父唁……………(五)

策題	(七)
重試策問	(七)
壬午年會試策問題	(八)
殿試策問題	(一〇)
策問題	(一一)
策題	(一二)
策題	(一三)
策題	(一四)

陽村先生文集卷之三十四

〔第七册〕

東國史略論	(一)
-------	-------	-----

陽村先生文集卷之三十五

〔第七册〕

東賢事略	(一)
許中贊諱珙	(一)

金中贊諱方慶	(一)
權贊成諱昞 <small>字晦之</small>	(三)
洪中贊諱子藩	(三)
權政丞諱溥	(四)
趙判門下諱仁規	(五)
蔡贊成諱洪哲	(六)
金政丞諱台鉉	(六)
崔贊成諱誠之	(七)
鄭贊成諱堦	(八)
閔判僉諱漬	(八)
閔贊成諱祥正	(九)
王密直諱伯	(九)
崔待制諱濬	(一〇)
禹祭酒諱倬	(一一)
趙密直諱廉	(一一)
金右使諱光載	(一二)

韓政丞諱宗愈	(二)
金政丞諱倫	(三)
崔參理諱文度	(四)
李領僉諱公遂	(五)
安贊成諱軸	(六)
鄭政堂諱思道	(七)
洪侍中諱彥博	(八)

陽村先生文集卷之三十一

〔第七册〕

碑銘類

有明朝鮮國桓王定陵神道碑銘并序	(一)
有明諡康獻朝鮮國太祖至仁啓運聖文神武大王健元陵神道碑銘并序	(二)
石刻本	(三)

陽村先生文集卷之三十二

〔第七册〕

有明朝鮮國承仁順聖神懿王后齊陵神道碑銘并序	(一)
迷源縣小雪山菴圓證國師舍利塔銘并序	(二)
有明朝鮮國普覺國師碑銘并序	(三)

陽村先生文集卷之三十三

〔第七册〕

碑銘類

有明朝鮮國諡文簡公安公墓碑銘并序	(一)
追贈正智國師碑銘并序	(二)
有明朝鮮國追贈推忠直節守文秉義輔祚功臣特進輔國崇祿大夫門下右政丞判都評議使司事兵曹事修文殿大學士領藝文春秋館事西原伯諡文簡公行光祿大夫刑部尙書集賢殿學士李公神道碑銘并序	(三)

陽村先生文集卷之三十九

[第七册]

碑銘類

故高麗國門下侍中柳公神道碑銘并序……………(一)

墓誌類

建元陵誌石文……………(四)

有明朝鮮國中直大夫校書監知製教充藝文春秋館編修官閔公墓

誌銘并序……………(八)

貞慎宅主權氏墓誌銘并序……………(八)

有明朝鮮國贈諡恭穆姜公墓誌銘并序……………(一〇)

陽村先生文集卷之四十

[第七册]

墓誌類

有明朝鮮國贈辰韓國夫人鄭氏墓誌銘并序……………(一)

行狀類

牧隱先生李文靖公行狀……………(二)

陽村集目次終

朝鮮史料
叢刊第十三

陽村集解説

麗季より鮮初に互り、半島文化は、元代の影響著しく、その國脈の摧殘せるに反して、文字は、彬彬然見るべきものがあつた。今日傳存してゐるこれら諸家の專集は、七八を數ふべく、就中、李穡の牧隱集、鄭夢周の圃隱集、李崇仁の陶隱集、鄭道傳の三峯集及び本集即ち權近の陽村集をもつて、白眉をなすべきであらう。陽村集は、近の子蹈改名隄によりて、彼の歿後に編次されたものである。

權近、字は可遠、初名晋、陽村は其號である。勝覽一四に權近高麗季、坐事流于州、居州南陽村、因號陽村とあるが、李穡の記によるに、陽村、吾門生永嘉權近之自號也、近之言曰、近也在先生之門、年最少學最下、然所慕而跂之者、近而之遠也、故字曰可遠、天下之近而又遠者、求之内曰誠、求之外曰陽、誠惟君子然後踐之、若夫陽也、愚夫愚婦之所共知也、云々といひ、陽村の號の由來は、必ずしも坐流後のものではなく、年少よりの自稱であると思はれる。系は安東、政丞溥の孫、僖の子、恭愍王己酉、年十八にして登第、世人を驚かした、坐主は、李穡である。かく、彼れは、早くより材名を負ひ、樞機に與かりしだけ、その進退

亦たかくべつ難處されたのである。これらの始末は、本集各節に收められてゐるから、更めて言ふほどのことはないが、洪武二十二年己巳即ち後廢王昌元年六月、朝命をもつて明に使し、その冬十月歸還した際をもつて、彼れの生涯は、判然前後を劃したものと、いつて可いのである。この使命は、門下評理尹承順と彼れと二人の差遣により、王は親朝を請はしめたので、かつての坐主李穡の決意入明と、その意圖を一にしたものであるが、その齎したところの禮部咨文が、禍因を成し、彼れは、逐竄された。次ぐに按律をもつて、危く一死を免れたのである。この始末の真相は、悉く本集の表面に見られるものではなく、李穡もも寧ろ同情に値するものがあらう。但だ本集の編次に當りて、後半生即ち己巳以後の製作の數々を收めたといふことは、蛇足否なむしる失敗であるといはねばならない。後世にいたりて、申欽象村のごときは、公麗末名大夫也、苟使當時安於流放、則其文章名論、烏下於牧隱、李穡諸公、而雞籠一頌、遽作開國寵臣、哀哉、いひ又た位不滿三司、年未享年六十、所得微矣、唯其子姓相承、冕弁不絕、至今猶盛、故人皆曰陽村陽村、有若有德行者、然甚矣其盜名也、象村彙言、ごまで評隲してゐる。申欽のいふところの雞籠一頌といふのは、本集(二)に收められてゐる進風謠并序を指し、忠州耆老の言に托して、李太祖の功業と雞籠山相地とを牽合したところのいはゞ諛文である。しかし、それにもまして重大なる影響を與ふるものは、碑銘類の首に收

められた桓王定陵神道碑并序に、高麗の運祚は、既に恭愍にて絶嗣し、昌の即位するや、天子、異姓をもつて王氏をもつて後ごなすを責めたといふ字句を明らさまに列記してゐるごでなければならぬ。これらは諛文といはんよりは、曲筆であつて、李氏開國の代辯をつごめたといつて可いものであらう。彼れが、當時、いかに保身に苦慮したかは、之をもつても窺はれやうが、申欽等の指斥に逢ふごは、己むを得ざる處位である。たゞ、これらの評隲は、權近個人の性格について議せらるべく、史料ごしての本集は、最も優れたものである。集中、一ごして、高文大札ならざるはなく、開國前後の一偉觀たるを失はない。蓋し牧隱集は、卷帙浩濶にして、その容量は、或は本集の上に出づるであらうけれども、専ら詩賦を收め、國事に關する多くの文章は、わざご忌避したやうであるから、本集に比して遜色を示すのである。本集の詩賦には、著者の自註が少くないが、閑過し得ざる史料の含まれてゐるごは、注意されたい。さて、申欽の言をまたず、安東永嘉權氏は、世家であつて、特に彼れの一子跬は、太宗の女に尙し、奇愛を受けたといはれ、それらが機縁を成し、彼の專集は、直に編訂付刊され、遂に佚亡するに至らなかつた。これらは、かれ權近にさりて、幸か不幸かは、遽に判らないごではあらうが、文献上の一大慶事であるごは、否定し得ない。

今、現存の本集刊本を訪査するに、大約左記の甲乙丙三種本に限られてゐるやうで

ある。

甲 權蹈初刻補印本 (舊奎章閣本京城帝國大學藏缺本)

首に世系を收め、年譜自録之に次ぎ、先づ明太祖御製詩三首を掲げ、次いで本文に及んでゐる。共に四十卷。序跋を缺いてゐるから、編次年月は、明かでないけれども、世系附註によりて、世宗三年四月以降、同八年間に在ることは、參定せられるのである。附註は、權の子踐、蹈、跬及び躡の四人の名を列ね、蹈(躡)には、親試第一名今爲左代言とあり、又た跬即ち太宗の駙馬には、諡號を附してある。跬は世宗三年四月をもつて卒去した。親試第一名は、太宗十四年三月の親試を指し、而して、世宗元年十二月中の除目に、左副代言として、彼のの名が見出されるのである。やがて、彼れは左代言に陞つたものと思はれるのであり、同八年三月の除目には、榮進して禮曹參判としての彼の名を見出す。これらの事實に基づき、編次年代を略ぼ前記のごとく想定した。同時出版年代も、今爲左代言の今字を根據とすれば、編纂後幾くもなくして付刊されたものであることが信ぜられるのである。奎章閣本には、補印の個處が少なくはない。乃ち版心に、或は陽村文集といひ、或は文集陽村といひ、或はたゞ文集といひ、或は陽村と書し、區々であつて、陽村文集にも陽

刻陰刻の別があるが、陽刻の個處は原版、その他はすべて補印でなければならぬ。しかし、その補印も、近代ではなく、世祖成宗間を下るものではなからうと思ふ。

乙

權儔覆刻本 (京城稻葉岩吉氏藏零本)

權儔は、權近十代の孫である。肅宗即位年(甲寅)之を晋州に印刊した、許穆眉叟の序によるに、初印の本集は、當時、幾んど傳はらなかつたので、儔は之を遺憾とし、多方探訪を行ひ、遂に晋州牧使南夢賚の協力により付刊したといふのである。許序を首に、目錄年譜、明太祖御製を次第に收め、世系は無い。次いで本文である。跋文を缺いてゐるから、委曲は明かでないが、凡べて十本に分冊し、年譜の形式は、甲種本の版とは著しく違つたものになつた。

丙

權樸覆刻本 (京城帝國大學藏本及び京城武者鍊三氏藏本)

乙種本を更らに覆刻したものである。權樸は、近の十二代孫、肅宗四十四年戊戌娥林縣慶尙南道居昌郡に上梓した。樸の序によるに、先祖陽村先生遺集、重刊於晋陽、殆四十餘年、中間板本漂失於水災者幾半、餘存亦多剝缺、不可以復印、といつてゐるが、舊版を仍用した個處も認められる。すべて五本に分冊してゐる。

9289

19

39129

以上三種の外、甲種本と乙種本との間に、翻印が行はれなかつたことは思はれないが、今は姑く後考をまつこころししよう。さて、本會が三種本中、甲種本を底本として、之を景印に付した趣旨は、この甲種本は、より多くの原版を存し、補刻亦た舊型を留めてゐるからである。體裁をもつていへば、宋元槧本に近く、古香宛然たるものが認められる。但だ第二十九卷より第三十三卷にいたる五卷を缺いてゐるから、別本にて之を補印した。

昭和十二年三月

朝鮮史編修會

